

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 東  
 コード番号 3758 URL http://www.aeria.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 祐介  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)清水 明 (TEL) 03(3587)9574  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	889	42.2	△734	—	△69	—	△131	—
25年12月期第3四半期	625	△85.6	△470	—	△667	—	△537	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △236百万円(—%) 25年12月期第3四半期 △189百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△27 03	— —
25年12月期第3四半期	△109 80	— —

平成25年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	3,707	3,395	87.9
25年12月期	4,061	3,657	87.2

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 3,259百万円 25年12月期 3,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0 00	—	10 00	10 00
26年12月期	—	0 00	—		
26年12月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成26年12月期の期末配当予想については未定としております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

平成26年12月期の業績予想については、現時点で合理的な算定が困難であるため、未定とし記載しておりません。詳細は添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社(社名) 、除外 社(社名)  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	5,299,200株	25年12月期	5,299,200株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	421,200株	25年12月期	435,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	4,867,196株	25年12月期3Q	4,896,538株

平成25年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府の各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。ただし、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れによる影響が懸念される等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するオンラインコンテンツ関連市場におきましては、従来のPCオンラインゲームに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴う利用者数の拡大を背景に、Android/iOSをはじめとするプラットフォームの多様化が進み、引き続き成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。

このような状況の下、当社グループは、スマートフォン、タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業並びにオンラインゲームの配信・運営事業を強化するとともに、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスを提供して参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高889,508千円(前年同期比42.2%増加)、営業損失734,904千円(前年同期は営業損失470,309千円)、経常損失69,259千円(前年同期は経常損失667,448千円)、四半期純損失131,601千円(前年同期は四半期純損失537,651千円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (オンラインコンテンツ事業)

オンラインコンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲーム並びにオンラインゲームの開発、配信及び運営を行っております。スマートフォン・タブレット向けゲームの課金収入が伸び売上高が増加しましたが、開発費、広告宣伝費等の積極的な先行投資により費用が増加しております。

以上の結果、売上高は398,601千円(前年同期比143.2%増加)、営業損失は796,022千円(前年同期は営業損失494,069千円)となりました。

#### (ITサービス事業)

ITサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴うデータサービス事業を行う株式会社エアネットは安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は529,198千円(前年同期比8.4%増加)、営業利益は61,431千円(前年同期比136.6%増加)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,707,860千円で、前連結会計年度末に比べ353,402千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ268,739千円減少し、2,733,117千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ84,662千円減少し、974,743千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ28,478千円減少し、230,353千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ63,144千円減少し、81,865千円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少等により、261,778千円減少し、3,395,641千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主力事業であるオンラインコンテンツ関連市場は国内外ともにその成長速度を予測することが難しいことや、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップなど、様々な不確定要素に収益が大きく左右されることなどから、現時点で合理的な算定が困難であるため業績予想の開示を見合わせます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,769,315	2,560,795
受取手形及び売掛金	87,369	107,252
商品	2,631	1,932
繰延税金資産	2,455	4,264
その他	141,510	60,310
貸倒引当金	△1,426	△1,437
流動資産合計	3,001,856	2,733,117
固定資産		
有形固定資産	79,691	87,803
無形固定資産	8,668	115,339
投資その他の資産		
投資有価証券	637,586	436,896
関係会社株式	266,167	270,515
長期貸付金	604,057	-
繰延税金資産	6,958	7,102
その他	73,001	69,913
貸倒引当金	△616,725	△12,826
投資その他の資産合計	971,045	771,600
固定資産合計	1,059,405	974,743
資産合計	4,061,262	3,707,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,001	19,613
未払費用	123,249	98,533
未払法人税等	17,760	19,920
賞与引当金	1,100	5,200
その他	89,721	87,085
流動負債合計	258,832	230,353
固定負債		
繰延税金負債	123,834	59,862
退職給付引当金	12,031	12,737
資産除去債務	9,144	9,265
固定負債合計	145,010	81,865
負債合計	403,843	312,219

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	236,772	236,772
資本剰余金	4,980,540	4,931,287
利益剰余金	△1,568,127	△1,699,728
自己株式	△401,400	△388,042
株主資本合計	3,247,784	3,080,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245,930	122,549
為替換算調整勘定	46,928	56,973
その他の包括利益累計額合計	292,859	179,522
新株予約権	1,748	11,955
少数株主持分	115,028	123,873
純資産合計	3,657,419	3,395,641
負債純資産合計	4,061,262	3,707,860



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	625,611	889,508
売上原価	618,874	805,556
売上総利益	6,737	83,952
販売費及び一般管理費	477,046	818,856
営業損失(△)	△470,309	△734,904
営業外収益		
受取利息	16,400	5,450
受取配当金	12,512	8,754
為替差益	11,081	3,604
持分法による投資利益	-	11,901
匿名組合投資利益	23,859	18,097
貸倒引当金戻入額	-	604,057
その他	1,622	13,884
営業外収益合計	65,477	665,751
営業外費用		
持分法による投資損失	102,773	-
貸倒引当金繰入額	158,777	-
その他	1,065	106
営業外費用合計	262,617	106
経常損失(△)	△667,448	△69,259
特別利益		
投資有価証券売却益	146,594	9,830
関係会社清算益	-	1,667
その他	1,000	-
特別利益合計	147,594	11,497
特別損失		
固定資産除却損	-	1,753
投資有価証券評価損	-	26,258
減損損失	2,583	10,859
その他	-	1,514
特別損失合計	2,583	40,386
税金等調整前四半期純損失(△)	△522,437	△98,148
法人税、住民税及び事業税	13,650	26,559
法人税等調整額	△2,186	△1,952
法人税等合計	11,464	24,607
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△533,901	△122,755
少数株主利益	3,749	8,845
四半期純損失(△)	△537,651	△131,601

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△533,901	△122,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	317,234	△114,837
為替換算調整勘定	27,834	10,044
持分法適用会社に対する持分相当額	△849	△8,543
その他の包括利益合計	344,219	△113,336
四半期包括利益	△189,681	△236,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△193,431	△244,937
少数株主に係る四半期包括利益	3,749	8,845

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン コンテンツ (千円)	I T サービス (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	162,240	463,370	625,611	—	625,611
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,689	24,770	26,459	△26,459	—
計	163,930	488,141	652,071	△26,459	625,611
セグメント利益又は損失(△)	△494,069	25,969	△468,100	△2,208	△470,309

- (注) 1. セグメント利益又は損失の「調整額」は、セグメント間取引の消去△66千円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△2,142千円によるものであります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインコンテンツ事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、2,583千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン コンテンツ (千円)	I T サービス (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	397,759	491,749	889,508	—	889,508
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	841	37,449	38,290	△38,290	—
計	398,601	529,198	927,799	△38,290	889,508
セグメント利益又は損失(△)	△796,022	61,431	△734,590	△314	△734,904

- (注) 1. セグメント利益又は損失の「調整額」は、各報告セグメントに帰属しない全社費用314千円によるものであります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、スマートフォン向けコンテンツの割合が増加したことに伴い、従来の「オンラインゲーム事業」を「オンラインコンテンツ事業」へ名称を変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、その他事業の重要性が乏しくなったため、当該事業に係る費用は全社費用として調整額に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント情報に基づき作成したものを開示しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインコンテンツ事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、10,859千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。